

## 日本で最も美しい 佐井村づくりビジョン

～佐井村2030年「日本で最も小さくかわいい漁村」～

# パブリックコメントの結果について

佐井村は平成28年10月にNPO法人「日本で最も美しい村」連合への加盟が認められ、昨年4月に産官民からなる組織を立ち上げ、2030年を見据えた「日本で最も美しい村」実現のためのビジョン並びにアクションプラン策定を進め、昨年11月に「日本で最も美しい佐井村づくりシンポジウム」を開催し、「日本で最も美しい佐井村づくり」実現のための下書きを公表しました。今般、これらに対する住民からの意見募集を行った結果、次のような意見等が寄せられました。

## 意見等

Q.

日本で最も小さくかわいい漁村とは、フランスの最も美しい村を範としていると思われるが、この思想との違いはあるのか。

A.

日本で最も美しい村連合そのものは、フランスで誕生した美しい村連合を範としており、小さくても輝くオンラインワンを持つ農山漁村が、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、住民によるまちづくり活動を展開することで地域の活性化を図り、地域の自立を推進すること、また、生活の営みにより作られてきた景観や環境を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源保護と地域経済の発展に寄与するという共通の思想の上で成り立っている。

Q.

日本で最も小さいとは、二〇三〇年に佐井村が日本で一番人口の少ない村になる

A.

ということを見越してのことか。

将来人口を指して小さいと表現しているのではなく、小さな村だからといって悲観するのではなく、郷土に対する愛と誇りを持ち続け、小さいながらもキラリと光る佐井村づくりを進めるという意味である。

Q.

ビジョンに掲載されている写真を見るとヨーロッパの国にきているような感を抱くが、ビジョンの根幹にあるのは佐井村のリゾート化ということか。

A.

掲載した写真は、現状の姿と将来の姿をイメージしやすいようにとの趣旨で現在の写真に加工を施し使用したが、欧米諸国のリゾート地を想像させるような感を抱かせたのは本意ではない。端的には美しい姿をイメージしやすいようにとのことである。今後、このビジョンを展開していく上では、地域に住む人々の生活に融合した形での景観づくりを含め、活動を展開して

Q.

いくことになる。二十八のアクションプランは全体的に魅力あるものがあるが、その中には、実現の可能性に「？」の付くものもある。アクションプランについて、予算の裏付けや実現に向けての工程表はどうなっているか。

A.

二十八のアクションプランは、このビジョン策定に關わって頂いた地域の方から、将来の佐井村がこうなってほしい、こうあるべきという想いを吸い上げて策定したもの。確かに中には本当にできるのか、夢物語ではないかとの意見はある。しかし、人間にそうであるように地域もまた、将来に対する夢や目標を持たなければ、前に進まないし、発展もしない。人は将来に対する夢や目標を持ち、その実現に向け絶え間ない努力や行動を起こすことでそれに近づくと思っている。行政として、地域の方が抱く、将来の佐井村の理想像実現のため、最大限努力す